

週刊 高齢者住宅新聞

科学的根拠に基づき運動

祥(さち)

重度化防止目標

横浜市鶴見区で小規模多機能型居宅介護、デイサービス、居宅介護支援事業所を運営する祥(横浜市)は1月6日、同社初となるリハビリ型デイサービス「リハビリデイ岸谷」を開設する。リハビリ型デイサービス開設の背景を山崎利春社長に聞いた。



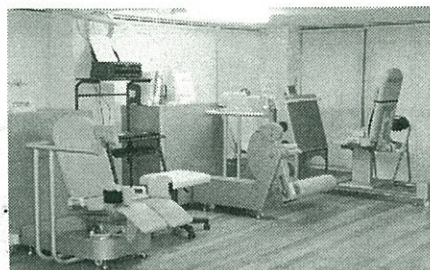
山崎利春 社長

開設のきっかけは。

山崎 私は過去に脳出血を起し、半身麻痺を患いました。そこから鍼灸、整体、スポーツジム、催眠療法など、1500万円以上の費用をかけ、リハビリに良いと言われた

もの全てに取り組みました。幸い、杖が無くても歩けるようになり、カラオケも5年ほど続けて言葉も普通に発せるようになりました。このようになった男性は閉じこもりになり、自分自身の経験から健康の大切さを強く感じ、リハビリ型デイサービスを開設しました。介護職員も重

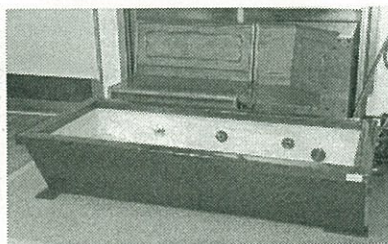
ります。重度化に責任を感じて若い職員が心身共に疲弊してしまわないよう職員のためにもこのような施設が必要だと考えています。リハビリ内容について。



▲山崎社長は包括的高齢者運動トレーニング理論に共感し、リハトレーナー導入を決めた

山崎 リハビリトレーニング理論には科学的な根拠があり、筋力に高年齢者の運動に特化した専用のマシンが必要だと考え、数年前かけて選定しました。当社が採用したサロンのオールデイズ(東京都中央区)は、山崎 冷え性改善に役立つ。高年齢者の憩いの場となるよう光明石を入れた足湯を設けました。温泉効果があり、15分入るだけで体全体が温かくなります。また、非行少年の教育・更生に携わり、現在は横浜市教育委員会学級開設講師と

横須賀市教育委員会遊学は早い段階で利用率50%を目指します。これが達成できれば利用者が利用者と呼ばれ、利用率は一気に上げられます。また、半年後には当施設の近隣でリハビリ型デイサービスをもう1店舗開設予定です。私はリハビリ型デイサービスと小規模多機能型居宅介護を地域密着型で展開し、高年齢者の重度化を可能な限り遅らせ、必要に応じて小規模多機能型居宅介護を利用してもらいたいと考えています。団塊の世代の要介護者を減らせるよう事業に取り組んでいきたいと思えます。



▶光明石を使った足湯も設置

**リハビリ型
デイ
開設の経緯**